

## ❖ 四国の8の字ネットワーク

四国8の字ネットワークとは、四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道で構成される全長約810kmの、四国4県を8の字で結ぶ高速道路ネットワークです。  
 四国内のみならず、本州四国連絡橋を介して、近畿、中国地方とも連携します。  
 一般国道56号は、高知市を起点に四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を経由して松山市に至る主要幹線道路で、四国西南部の動脈として、重要な役割を果たしています。



## ❖ 高知県西南地域の高規格道路の整備状況



## ❖ 事業の進め方

- 1 事業化**
- 2 地元説明(測量調査立入説明会)**  
測量等に伴う現地立入のご協力をお願いします。
- 3 測量調査**  
設計に必要な測量や地質調査等を実施します。
- 4 設計**  
測量や地質調査のデータを基に、道路構造や水路、付替道路等の設計を行います。
- 5 設計協議**  
道路構造、水路、付替道路等を説明するとともに、用地幅について協議します。
- 6 用地幅杭打設**  
道路の建設に必要な幅を示す杭を現地に打設します。
- 7 境界立会**  
民々境界、官民境界を現地に立会します。
- 8 用地測量調査**  
丈量測量※、建物、工作物、立木、その他補償対象物件の調査をします。
- 9 用地補償説明**  
用地測量調査に基づき土地価格、建物等の補償について説明します。
- 10 用地契約**  
補償内容にご理解いただいた方について、土地、建物等の売買契約をします。
- 11 工事**  
用地にご協力いただいた箇所から工事に着手します。
- 12 開通**

※丈量測量：土地の広さを測量すること

### アンケート結果から 地域のみなさんの声

子供が病気になる  
 幡多けんみん病院へ。  
 少しでも早く着きたいです。  
 (30代女性)

南海トラフ地震は必ず来る。  
 命の道路として早期完成を。  
 (50代男性)

高知へ行き、  
 カーブが多く坂もあり、  
 いつも疲れつらさ。 (60代女性)

高速道路の開通で、  
 利便性や地域振興に  
 期待が持てるようになった。  
 (60代男性)

海を見ながらドライブできる  
 観光地としての道路があれば。  
 (70代女性)

四万十市の  
 産業振興には、  
 物流が大きな  
 ファクターだ。  
 (50代男性)

四国横断自動車道(佐賀~四万十)における道路計画に関する第1回、第2回アンケート調査結果から抜粋



国土交通省 四国地方整備局  
**中村河川国道事務所**  
 〒787-0015 高知県四万十市右山 2033-14  
 TEL 0880-34-7301 (代)  
 URL <http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/>

◎道路に関するお問い合わせは「道の相談室」TEL 087-811-8460 FAX 087-811-8463 (通話料金が掛かります)

道路の異状を発見したら... **道路緊急ダイヤル #9910** (24時間受付)



ホームページでも  
 情報提供中

令和3年7月作成

カツオと鯉の国の川漁し



国道56号 ROUTE 56 一般国道56号

さがおおがた おおがたしまんと  
**佐賀大方道路・大方四万十道路**

四万十市 imanto

高瀬沈下橋

国土交通省 四国地方整備局  
 中村河川国道事務所

# 一般国道56号 佐賀大方道路・大方四万十道路

## 事業概要

一般国道56号佐賀大方道路・大方四万十道路は、四国横断自動車道の一部を構成し、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として津波浸水域を避けつつ役場や防災拠点、集落を連絡するとともに、都市部や空港、第二次救急医療機関へのアクセス向上によって、高知県西部における観光振興や地域産業、緊急搬送などの医療活動を支援する道路です。

## 路線概要

事業名	一般国道56号 佐賀大方道路・大方四万十道路
起終点	高知県幡多郡黒潮町佐賀～高知県四万十市右山
延長等	21.9 km (第1種第3級、設計速度80km/h)
車線数	2車線 (自動車専用道路)

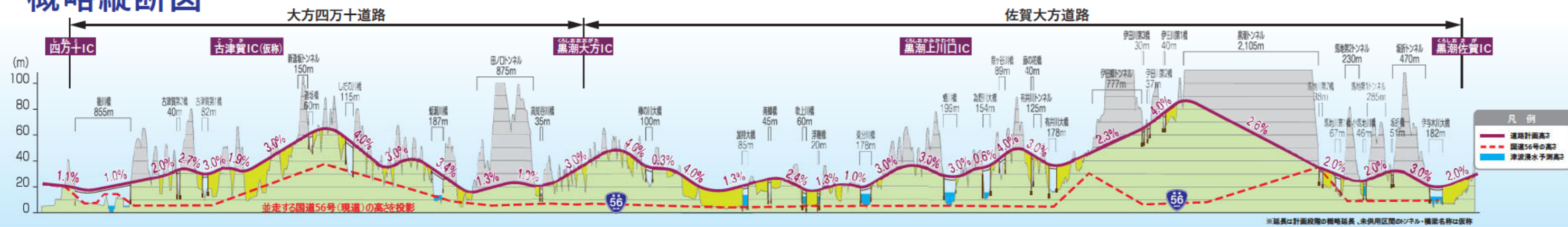
## 経緯

- ▶平成25年度 計画段階評価着手
- ▶平成27年4月9日 計画段階評価手続き完了
- ▶平成29年1月27日 都市計画決定
- ▶平成29年度 佐賀大方道路事業着手
- ▶平成31年度 大方四万十道路事業着手

## 標準断面図



## 概略縦断面図



## 整備効果

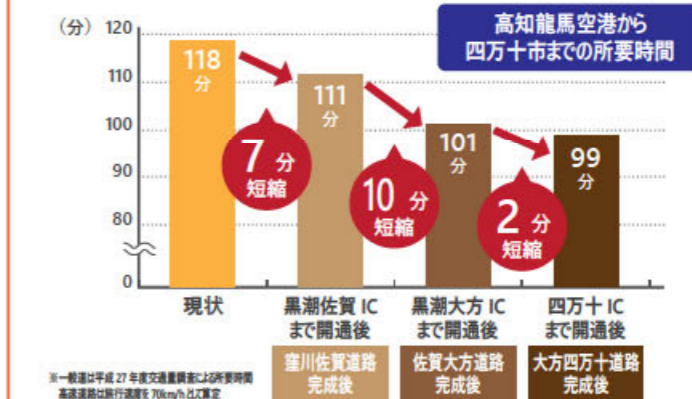
### 整備効果 1 防災機能の強化と災害に強い街づくりを支援

- 南海トラフ地震等の災害時に、津波浸水しない高さを確保した道路により、円滑な救援活動・物資輸送に寄与します。
- 避難道路整備や高台に移転した黒潮町新庁舎、防災拠点などと連携して防災を踏まえた黒潮町の街づくりに寄与します。
- 防災拠点集約や防災機能を備えた中心市街地の再開発、既存商業施設を活用した地域・産業活性化など、四万十市の街づくり構想を支援します。



### 整備効果 2 周遊観光・地域産業促進による高知県西部の活性化

- 高知市周辺や高知龍馬空港から、幡多地域の観光地等への移動時間を短縮し、定時性を確保することで、地域経済の活性化が期待されます。



### 整備効果 3 安全安心な医療機関へのアクセス

- 佐賀大方道路・大方四万十道路の整備により、幡多けんみん病院への60分圏域が拡大し、高幡地域南部へのカバー率が増加します。
- 幡多けんみん病院への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減します。



※1 60分圏域とは、医療機関へ道路を利用し、60分で到達可能な範囲  
 ※2 R=150mとは、道路構造令における設計速度60km/hの最小曲線半径標準値